



こんにゃくパークの外観

○本社所在地：群馬県甘楽郡甘楽町小幡204-1

○事業概要：こんにゃく製品及び
加工食品の製造販売

○常時使用する従業員：226名（2024年5月期）

○現在の売上高：81億円（2024年5月期）

○法人番号：4070001011985

○Web：https://www.yokoo-net.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
横尾 浩之

こんにゃくが100年後も食べられるように

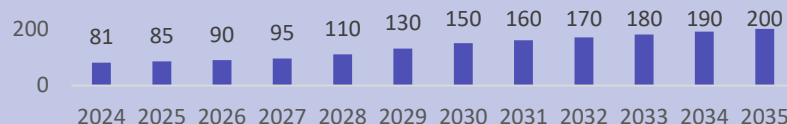
こんにゃくを通して、人々のおいしいから始まる、美しく健康的な体と幸せな心の創造に貢献する

こんにゃくの消費拡大のためこれらの新しい価値を軸に、こんにゃくの課題である調理の手間を解消した商品開発に取り組めます。こんにゃくパークを中心に広報活動を強化することで、一層こんにゃく市場が活性化し、「こんにゃくが100年後も食べられるように」邁進してまいります。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高200億円の達成に向け、新商品の開発や海外展開等を図り、年率9%程度の成長を目指す。



課題

- ・主力製品（板こんにゃく、しらたき等）は市場規模が減少
- ・ゼリーの需要拡大し、生産が追いつかない状況
- ・こんにゃくの海外輸出が増加しており、海外市場の強化への対応
- ・人口減少による人手不足、安定した従業員の雇用
- ・年々こんにゃく農家の廃業等もあり、こんにゃく生産量が減少

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

ゼリーの生産拡大

- ・個包装のゼリー需要が高まっており、生産能力の強化

付加価値の高い商品開発

- ・ライフスタイルの変化により、加工食品市場が拡大基調
- こんにゃく総菜等の手軽に食べられる商品開発

販路開拓・海外展開

- ・こんにゃくパーク等を通じた、広報活動のより一層の強化
- ・健康志向の高まりにより、欧米でのこんにゃく輸出が増加傾向にあり、海外市場への展開

実施体制

生産体制

- ・迅速な意思決定により、スピード感をもった事業を遂行
- ・ゼリーラインの増強やこんにゃく総菜等の商品開発及び量産化に向けた体制を整備する
- ・生産ラインの自動化を進め、少数でも生産が可能な体制を整備する

ガバナンス体制

- ・職場環境や労働環境の改善、BCP対策の実施、セキュリティ対策などガバナンス体制の強靱化に取り組む